仮想マシンを管理

ONTAP tools for VMware vSphere 9.12

NetApp
April 02, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-tools-vmware-vsphere-912/manage/reference_considerations_for_migrating_virtual_machines.html on April 02, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

仮想マシンを管理 . . . 1
仮想マシンの移行またはクローニングに関する考慮事項 . . . 1
保護された仮想マシンを移行します . . . 1
保護された仮想マシンのクローン作成 . . . 1
仮想マシンのスナップショット . . . 1
従来の仮想マシンを VVOL データストアに移行する . . . 2
以前のストレージ機能プロファイルを使用して仮想マシンを移行する . . . 2
VASAクリーンアップ . . . 3

仮想マシンを管理

仮想マシンの移行またはクローニングに関する考慮事項

データセンター内の既存の仮想マシンを移行する際の考慮事項について理解しておく必要があります。

保護された仮想マシンを移行します

保護された仮想マシンは次の場所に移行できます。

- 別の ESXi ホストにある同じ VVOL データストア
- 同じ ESXi ホスト上に互換性のある異なる VVOL データストアがあります
- 互換性がある異なる VVOL データストアが別の ESXi ホストにあります

仮想マシンを別の FlexVol に移行すると、それぞれのメタデータファイルに仮想マシン情報も反映されます。仮想マシンを同じストレージを持つ別の ESXi ホストに移行した場合、基盤となる FlexVol ボリューム metada ファイルは変更されません。

保護された仮想マシンのクローン作成

保護された仮想マシンは、次の場所にクローニングできます。

- レプリケーショングループを使用して同じ FlexVol ボリュームの同じコンテナ

  同じ FlexVol ボリュームのメタデータファイルが、クローニングされた仮想マシンの詳細で更新されます。

- レプリケーショングループを使用して、異なる FlexVol の同じコンテナ

  クローニングされた仮想マシンが配置された FlexVol ボリュームでは、クローニングされた仮想マシンの詳細がメタデータファイルに反映されます。

- 別のコンテナまたは vVol データストアです

  クローニングされた仮想マシンが配置された FlexVol ボリュームでは、メタデータファイルに仮想マシンの詳細が更新されます。

VMware では、現在、仮想マシンを仮想マシンテンプレートにクローニングすることはできません。

保護された仮想マシンのクローン作成がサポートされています。

仮想マシンのスナップショット

現在、メモリのない仮想マシンのスナップショットのみがサポートされています。仮想マシンにメモリ付きの Snapshot がある場合、その仮想マシンは保護対象とはみなされません。

メモリ Snapshot を持つ保護されていない仮想マシンを保護することもできません。このリリースでは、仮想

マシンの保護を有効にする前にメモリスナップショットを削除する必要があります。

従来の仮想マシンを VVOL データストアに移行する

仮想マシンを従来のデータストアから Virtual Volumes （ VVol ）データストアに移行して、ポリシーベースの VM の管理やその他の VVol の機能を利用できます。vVol データストアを使用すると、増加分のワークロード要件に対処できます。

- 必要なもの *

移行する仮想マシンで VASA Provider が実行されていないことを確認しておく必要があります。VASA Provider を実行している仮想マシンを VVOL データストアに移行すると、いっさいの管理操作を実行できなくなり、仮想マシンの電源をオンにすることもできなくなります。

- このタスクについて *

従来のデータストアを VVOL データストアに移行する際、 vCenter Server では、 VMFS データストアからのデータの移動には vStorage APIs for Array Integration （ VAAI ）のオフロードが使用されますが、 NFS VMDK ファイルからのデータの移動には使用されません。VAAI のオフロードは、通常、ホストの負荷を軽減します。

- 手順 *

1. 移行する仮想マシンを右クリックし、 * Migrate * （移行）をクリックします。
2. ［ * ストレージのみを変更する * ］ を選択し、 ［ * 次へ * ］ をクリックします。
3. 移行するデータストアの機能に一致する仮想ディスク形式、 VM ストレージポリシー、および VVOL データストアを選択し、 * Next * をクリックします。
4. 設定を確認し、 [完了] をクリックします。

以前のストレージ機能プロファイルを使用して仮想マシンを移行する

VMware vSphere 用の最新バージョンの ONTAP ツールを使用している場合は、 次に、「最大スループット Mbps 」または「最大スループット IOPS 」の QoS メトリックを使用してプロビジョニングされた仮想マシンを、最新バージョンの ONTAP ツールの「最大 IOPS 」 QoS メトリックを使用してプロビジョニングされた新しい VVOL データストアに移行します。

- このタスクについて *

最新バージョンの ONTAP ツールを使用して、仮想マシンまたは仮想マシンディスク（ VMDK ）ごとに QoS 指標を設定できます。これまで QoS 指標は ONTAP FlexVol ボリュームレベルで適用され、その FlexVol でプロビジョニングされたすべての仮想マシンまたは VMDK で共有されていました。

ONTAP ツール 7.2 以降では、 1 つの仮想マシンの QoS 指標が他の仮想マシンと共有されません。

既存の VM ストレージポリシーは変更しないでください。仮想マシンが準拠しなくなる可能性があります。

- 手順 *

1. 必要な「最大 IOPS 」の値を指定した新しいストレージ機能プロファイルを使用して、 VVOL データストアを作成します。
2. VM ストレージポリシーを作成し、新しい VM ストレージポリシーを新しいストレージ機能プロファイルにマッピングします。
3. 新しい VM ストレージポリシーを使用して、既存の仮想マシンを新しく作成した VVOL データストアに移行します。

VASAクリーンアップ

VASAのクリーンアップを実行するには、このセクションの手順を使用します。

VASAクリーンアップを実行する前に、VVOLデータストアを削除することを推奨します。

- 手順 *

1. に移動してプラグインの登録を解除します https://OTV_IP:8143/Register.html
2. プラグインがvCenterで使用できなくなったことを確認します。
3. ONTAP Tools for VMware vSphere VMをシャットダウンします
4. ONTAP Tools for VMware vSphere VMを削除します

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。